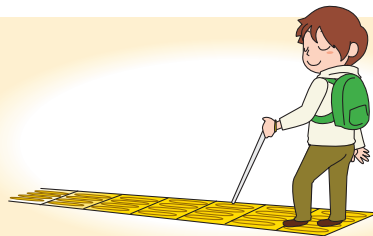


まちなかのユニバーサルデザインについて

わたしたちが暮らすまちには、ユニバーサルデザインの考え方でつくられた建物や設備がたくさんあります。

みなさんはこれらが設置されている理由やこれらが必要としている人のことをきちんと理解していますか？

点字ブロック



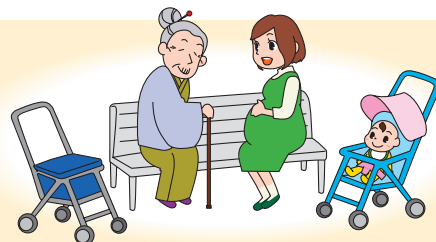
視覚障がい者が、安全にスムーズに歩くために必要な設備です。連続して、途絶えることなく安全性を確保することが大切です。玄関マットがブロックに被さることなく適切に敷設されています。

受付カウンター



車いす使用者が容易に接近できるよう、高さが低く、蹴込みのあるカウンターを設けています。いすを置けば、足の不自由な方や杖を使う高齢者等に座っていただくこともできます。

休憩ベンチ



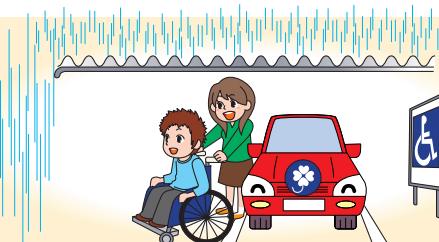
ベンチの周囲に十分なゆとりを確保しているため、シルバーカーやベビーカーを押している人などを含めて、だれもが気軽に利用することができます。

低床型バス



乗降口に階段がなく、スロープ板を設置しているため、車いす使用者やベビーカーを押している人、お年寄りなどが利用しやすいようになっています。

屋根付き 車いすマーク 駐車場



駐車スペースが広いだけでなく、傘をさすことができない障がい者等が雨に濡れないように、駐車場から建物の出入口までの間に、屋根が設けられています。